

リニア時代にふさわしい環境モデル都市づくりロードマップ策定の目的

このロードマップでは、環境モデル都市としてこれまで取り組んできたことを踏まえ、飯田市の多様な暮らしや風土にふさわしいエネルギーの域産域消の取り組みを中心に、リニア時代にふさわしい低炭素で活力ある環境モデル都市飯田を実現するための一つの道筋を示しました。

このロードマップを出発点に市民、事業者、行政などの多様な主体による議論と取り組みを進めていきます。

リニア時代にふさわしい環境モデル都市づくりロードマップ策定の4つの視点

視点1 私たちがエネルギーを考える時代

視点2 人々や自然との絆を大切に
地域社会再生の時代

視点3 地域の多様な主体の協働

視点4 美しく豊かな山・里・街の暮らしが
ある高付加価値都市圏の形成

2030年までの重点プロジェクトと目標

山・里・街の暮らしにふさわしいエネルギーの域産域消や地域全体での省エネの推進、エコライフを推進することで、リニア時代にふさわしい、魅力ある持続可能なまちづくりを目指します。



目標1 エネルギーを創る
「創エネ」

市内のエネルギー需要の20%を
再生可能エネルギーでまかないます

温室効果ガス15%削減

目標2 エネルギーを減らす
「省エネ」

市内のエネルギー需要の10%を
省エネでまかないます

温室効果ガス10%削減

目標3 エネルギーを上手に使う
「交通」

市内の移動には
環境にやさしい乗物を活用します

温室効果ガス15%削減

重点プロジェクト1 地域エネルギービジネスを実現させるためのフラット

市民、事業者、行政などの多様な主体が、様々な地域エネルギービジネスを創出して環境モデル都市づくりに参画していただくための支援組織を構築して、地域が主体となった地域エネルギービジネスをコーディネートします。

重点プロジェクト2 おひさまのエネルギーによる域産域消の推進

- ◆住宅用の太陽光発電設置の推進
- ◆業務用の太陽光発電設置の推進(事業所、公共施設、コミュニティ共同発電等)
- ◆太陽光エネルギーの面的利用(メガソーラー等)
- ◆太陽熱の高度利用

- ①住宅での太陽光発電の利用推進(再生可能エネルギー固定価格買取制度、補助金、初期投資0円等の様々な手法を通じて)や、高度な太陽熱利用の推進、蓄電池による創エネの推進
- ②全量固定価格買取制度を活用した事業所や地域での太陽光発電の普及
- ③メガソーラーによる大規模な太陽エネルギーの利用の推進

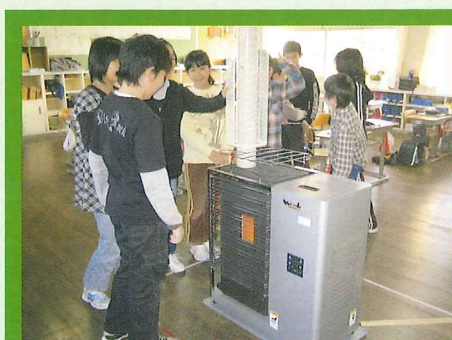
重点プロジェクト3 もりのエネルギーによる域産域消の推進

- ◆木質バイオマスエネルギー資源の確保から流通までの体制構築
- ◆民生部門での木質バイオマスエネルギー通年需要の創出
- ◆地域産材を活用した住宅、建築物での省エネ推進

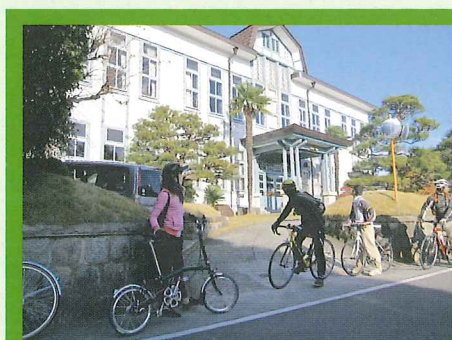
- ①木質バイオマスエネルギー需給システムの確立
- ②多様な木質バイオマスエネルギー利用の推進(木質バイオマス発電等)



りんご並木のエコハウスでのエコライフ講座



市内小学校に設置した木質ペレットストーブ



サイクルトークサロンでの市内自転車ツアー

フォーラムの構築

- ①多様な主体との協働による地域エネルギービジネスの推進
- ②地域エネルギー事業者による再生可能エネルギー資源を生かした新たな地域エネルギービジネスの創出
- ③知のネットワーク(学輪IDA)、地域金融政策との連携

重点プロジェクト4 市民参加型の小水力発電事業

- ◆中山間地域における電力自給型発電事業の推進
- ◆マイクロ小水力によるコミュニティ共同発電の推進
- ◆マイクロ小水力による自家用消費電力供給

- ①市民参加型の小水力発電事業の推進
- ②地域のものづくり技術を生かしたマイクロ小水力発電機の開発と小規模河川や農業用水路での普及



すいじん(マイクロ小水力試作機)

重点プロジェクト5 産業・民生部門での省エネ推進

- ◆タウンエコエネルギーシステムによるエネルギー利用抑制
- ◆地域版省エネ建築・改修ガイドラインの活用による建築物の省エネ化
- ◆地域ぐるみ環境ISO研究会の先導的な省エネ事業の全域展開

- ①地域の風土を生かしたガイドラインによる建物の省エネ化の推進
- ②エネルギーの最適利用と建物の省エネ化を実現するモデル地区の創出



りんご並木のエコハウス

重点プロジェクト6 次世代移動手段等を活用したライフスタイルの低炭素化

- ◆山・里・街の暮らしにふさわしい次世代自動車の普及とインフラ整備
- ◆市民共同による自転車利用の推進
- ◆公共交通機関の充実と利便性の向上

- ①移動手段の低炭素化
- ②EV充電ステーション等のインフラ整備
- ③自転車市民共同利用の推進
- ④ラウンドアバウト型交差点の導入

吾妻町ロータリーにおけるラウンドアバウトの社会実験

【ラウンドアバウトとは】
○円形交差点の一種。車両は中央島の周りの環状道路を一方方向に通行する

【ラウンドアバウトの特徴】
○直進通過不可のため、速度が低下し事故を軽減
○信号機が不要なため、環境に優しく、信号停車時にも機能する